

J P C O A R

オープンアクセスリポジトリ推進協会

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略

2019～2021 年度

2019 年 3 月 13 日

2018 年度総会決定

<現状認識－機関リポジトリを取り巻く環境の変化>

オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）は、2016 年の創設以来、世界にも類をみないオープンアクセスリポジトリコミュニティとして成長を続けている。また、JPCOAR は、大学図書館界全体として活動するリポジトリの新しいコミュニティとして、機関リポジトリによる学術文献を中心としたオープンアクセスを進めることで、学術情報流通の改善を行ってきた。今後もそれが基礎であることに変わりはなく、学術雑誌論文のセルフアーカイブ、紀要論文、学位論文の公開という機関リポジトリの基本的な機能のみならず、リポジトリを通じた知の発信システムとして多様な学術成果の発信を進めていく。一方で、リポジトリを取り巻く状況は近年大きく変化している。とりわけ、世界的潮流となっているオープンサイエンスに関して、「第 5 期科学技術基本計画」では、「オープンサイエンスとは、オープンアクセスと研究データのオープン化（オープンデータ）を含む概念」とした上で、イノベーションを生み出す知の基盤としてのオープンサイエンス推進が謳われている。JPCOAR もその設立趣意書にあるように、学術成果のオープン化に寄与するため、オープンアクセスに関するこれまでの取り組みを土台として、オープンサイエンスの推進に、国内外の団体との連携を密にしながら取り組んでいくことが必要となる。

<ビジョン>

機関リポジトリをめぐる国内外の状況を踏まえ、リポジトリコミュニティとしての JPCOAR は、国内外の関係する団体、コミュニティと連携し、リポジトリによる知の発信システムを構築し、オープンアクセスのより一層の推進を目指す。会員機関のニーズを踏まえ、多様なコンテンツへの対応、コンテンツの価値を高めるリポジトリの機能向上に努めるとともに、研究データにも対応するリポジトリ環境の整備を行っていくことで、オープンサイエンスの推進にも寄与する。また、このめまぐるしく変化する環境に対応し、JPCOAR のコミュニティとしての機能を強化し、会員機関全体の底上げを図るとともに、新しい時代を担う中核的な人材の育成に努めていく。

<オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021>

JPCOAR はビジョン実現のため、2019 年度から 2021 年度の 3 年間においては以下のオープンアクセスリポジトリ戦略をもとに活動を行う。

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。
2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOAR のブランド力を高める。

<戦略にもとづく活動>

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。
活 動 計 画
1.1 研究データ対応を見据えた国内機関リポジトリの役割、機能要件を明らかにし、研究データを公開する基盤に関する整備を行う。
1.2 国内外の関連機関と連携し、研究データの情報流通促進及び評価に関する活動を行う。
1.3 研究データの管理・共有・公開を促進するため、研究支援に携わる職員の意識、スキルの向上を図り、会員機関における活動を支援する。
実 施 担 当
研究データ作業部会

2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
活 動 計 画
2.1 コンテンツ収集の方策を検討し、リポジトリを活用した学術情報のオープン化に寄与する活動を促進する。
2.2 著作権等のポリシーに関する動向を確認し、学協会等への適切な働き掛けを行う。
2.3 多様なコンテンツの流通を支えるメタデータスキーマである JPCOAR スキーマの普及に努め、国際的な相互運用性を確保するために適切な維持管理を行う。
2.4 外部データとの連携を支える永続的識別子の活用を促進する。
2.5 コンテンツの再利用を可能とするため、著作権者等によるライセンスの付与を促進する。
2.6 国立情報学研究所と連携・協力し、JAIRO Cloud の機能改善と安定的、持続的な運営を行う。
実 施 担 当
コンテンツ流通促進作業部会

3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
活 動 計 画
<p>3.1 コミュニティ活動を支援するため、会員相互の情報交換の場を提供する。</p> <p>3.2 国内外の最先端の取組、技術や知見を収集し、会員機関へ提供する。</p> <p>3.3 JAIRO Cloud コミュニティサイト等を通じた、JAIRO Cloud 利用機関へのサポートを行う。また、JAIRO Cloud 移行機関へのサポートも引き続き実施する。</p> <p>3.4 会員機関におけるコンテンツの充実のための取り組みやポリシーの策定など、各機関が主体的に実施する活動について、コミュニティとして情報共有を図る。</p> <p>3.5 会員機関が実施する優れた取り組みへの支援を行い、その成果を協会、会員機関へ還元する。</p>
実 施 担 当
コミュニティ強化・支援作業部会

4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
活 動 計 画
<p>4.1 オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材に必要な標準的な技能や知識を明確にする。</p> <p>4.2 オンラインによる学習を含め、リポジトリ担当者、研究支援に携わる職員など様々な対象・レベルの研修の機会の充実を図る。</p> <p>4.3 作業部会、タスクフォース、海外派遣などの活動を通じて、オープンアクセス、オープンサイエンスを牽引する中核的人材の育成を支援する。</p>
実 施 担 当
人材育成作業部会

5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOAR のブランド力を高める。
活 動 計 画
<p>5.1 オープンアクセスの推進を図るため、会員機関の拡大を図り、人的及び財政的な活動基盤をより強固なものにしていく。</p> <p>5.2 協会の活動及びその成果を広く発信し、国内外での協会の認知度向上に努め、海外においては特にアジアでの存在感を高める。</p> <p>5.3 リポジトリを活用したオープンアクセス及びオープンサイエンスを推進するため、関連する国内の機関や組織等と適切に連携を行っていく。</p> <p>5.4 国際的な取組みに積極的に関与するため、オープンアクセス、オープンサイエンスを推進している国際的なコミュニティやイニシアティブとの連携を進める。</p>
実 施 担 当
運営委員会